

8月25日(土)、耳原歯科診療所の院所利用委員会主催による「歯科・本部平和のつどい」を職員、患者、地域の方の計40人で開催しました。

6月の辺野古支援行動と、8月の原水禁広島大会に参加した職員3人から、行動内容の報告がありました。「自然豊かな辺野古の海を壊してはならない」「戦争は2度と起こしてはならないと強く思った」など、参加者からの感想が寄せられました。

戦争体験を語る小畑哲雄さん



次に「私の戦争体験」で京都府在住の小畑哲雄氏(91歳)から、自身の体験をもとに戦前から戦中戦後生き抜いてこられた貴重な話を聞きました。

戦時中、夏の甲子園で召集令状が届くと大きなスピーカーで名前を呼ばれた、その光景が今でも忘れることができません。夏の大会は見られませんが、戦争は起こさなければ、できるだけの人のために、戦死し、そのお母さんの悲しみを目の当たりにしたことが「私の反戦の原点」。「安倍政権になって

から平和憲法も危ない、絶対に戦争は起こさせないために、できるだけ多くの人たちに戦争の悲惨さ、怖さ、残酷さを伝えていきたいと思います」とのことでした。

(歯科技工士 阪井 主三)



辺野古支援行動参加者の報告

歯科本部 平和のつどい開催

原水禁大会報告と戦争体験を聴く

海も・大地も泣いている!!



沖縄県民大会

沖縄県民大会に参加して

新金岡支部 支部長 澤田 節子

「台風接近!」の報道の中出発。マイクロバスで辺野古へ向かう途中、小高い丘に建っている高等専門学校の鉄塔が、米軍の高さ制限にひっかかるにもかかわらず工事は始まっている。



辺野古での座り込み

浜テント村での説明の中で「なぜ辺野古に新基地なのか? 沖縄の人たちの人権がないがしろにされている。完成まで30年かかるといわれているが、その間、普天間基地は返さない。新

基地建設は沖縄だけの問題ではなく、日本全体の問題。本土の人たちはこの事をどう思いますか?」と、問われた。

翌日の県民大会は時折激しくなる雨の中、7万人もの人が翁長知事の遺志を継ぐべく結集。壇上には翁長氏の帽子が置かれ、始めに黙とうを捧げた。「空も泣いている。海も大地も泣いている。けすられ、うめいしている。ただ、普通の生活がしたい!」そのことだけ。私たちは黙っているだけの人ではない!」の発言も。

「新基地ノー!」県民はあきらめない!」のメッセージボードを掲げ、大会決議も確認され、熱い思いが会場に満ちていました。

第28回健康友の会みみはら「旅行サークル」バスツアーのご案内

歴史を愛でる北陸満喫の旅

と き…12月2日(日)～3日(月)
集合場所…堺東・合同庁舎前(堺市役所横)
定 員…35名
集合時間…午前8時30分



(10分前には集合してください)
行 き 先…初冬の北陸・山中温泉満喫の旅
参 加 費…26000円(1泊4食付・入場料込み)
参加申し込み



健康友の会みみはら事務局まで
電話 072-244-8061

*申し込み後のキャンセルは、規定のキャンセル料を徴収させていただきます。

お問い合わせは、090-9614-4993(旅行サークル事務局・井上)まで



原発がなくても

富田林市

馬場 義伸(66歳)

9月3日付の新聞に「猛暑の7月、原発は一基も稼働させなくても電力安定供給」と出ていました。東電管内の話です。原発が稼働していない分は太陽光発電で賄われています。原発は要りません。

共感!

堺市堺区

山下 愛子

昨年の秋の転居後、かねてからの膝痛が悪化し、たまたま近くのみみはら病院を受診。こちらは医療はもろろのこと、その他でも人間の命を大切に活動されていることを知り、共感しています。これからもお世話になります。

どうして…

堺市南区

林 順子(73歳)

今、親の虐待で幼い子どもの命が危ぶまれたというニュースが増えていきます。どうして産みの親がそんなことをするのでしょいか。原因は何なんでしょう。

健康チャレンジ

大阪狭山市

長尾 加代(70歳)

先日クオカードが送られてきました。健康チャレンジ達成で頂きました。毎朝、起床後、ストレッチして、朝食食べて、ウォーキングしています。良い習慣が身に付いて、今ではウォーキングしながら時折公園のゴミ拾いもしています。

クイズが楽しみ

堺市堺区

横井 義之(71歳)

クイズ解くのを楽しみにしています。



小寺富美代

友の会はおとく

堺市西区

幸野 紀子(42歳)

友の会では予防注射が少し安く受けられたり、人間ドックも安くなるのでいいと思います。

十五夜の月

堺市西区

西 陽子(66歳)

今年の夏はほんとうに暑い。十五夜の月でも見て、気持ちだけでもすずしくなりたい。